

令和7年度 認知症疾患医療センター 事業自己評価結果

令和8年7月24日
令和8年度第1回千葉県認知症疾患医療センター連絡会議

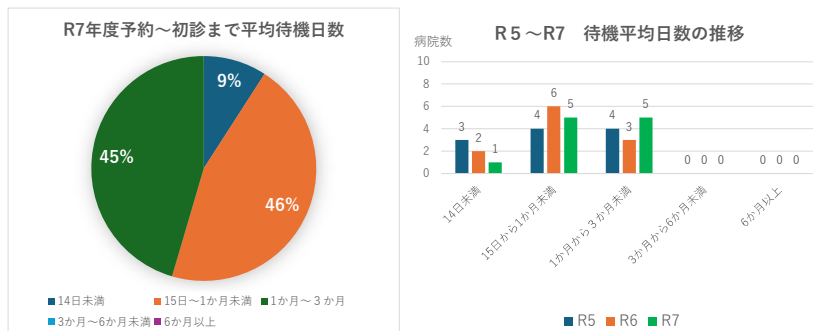
1

調査概要

- 県内の認知症疾患医療センター11カ所に記名式アンケート調査を実施。
- 調査期間：令和8年3月4日～令和8年3月25日
- 回収方法：メールで調査票を回収
- 回収数11カ所（回収率100%）
- 質問内容：予約から初診までの待機日数、患者や家族への説明、介護サービス等の情報提供、医療機関との連携、専門医療相談体制の確保、相談応需マニュアルの有無、診断後の相談支援、ピアカウンセリングやピアサポートの実施の有無、連携会議の運営状況、研修の開催状況等

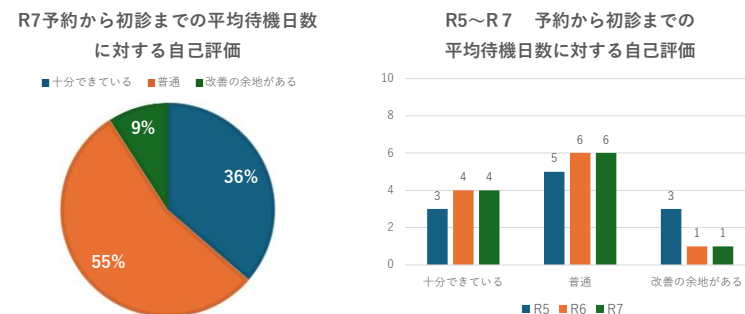
2

初診までの待機平均日数 （緊急時を除く、予約受付時～センター初診）



3

②予約から初診までの待機日数に対する 自己評価

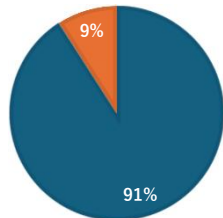


4

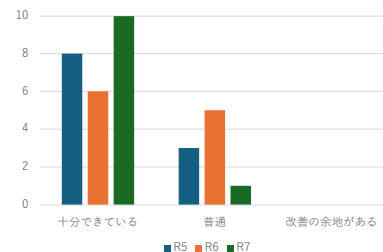
受診者に対して診察の結果について十分に説明を行っているか

R7 受診者に対して診察結果を十分に説明しているか

■ 十分できている ■ 普通 ■ 改善の余地がある



R5~R7 受診者に対して診察結果を十分に説明しているか

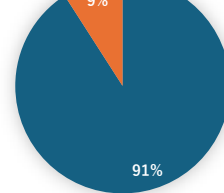


5

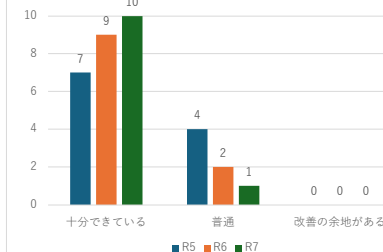
受診者の家族に対して診察の結果について十分に説明を行っているか

R7 受診者の家族に対して診察結果を十分に説明しているか

■ 十分できている ■ 普通 ■ 改善の余地がある



R5~R7 受診者の家族に対して診察結果を十分に説明しているか

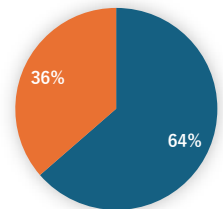


6

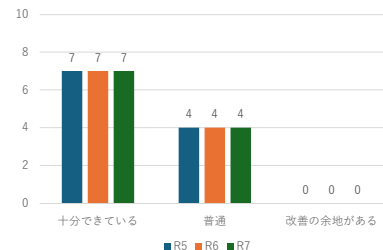
治療方針を決定した後、安定期に医療ケアについて適切にかかりつけ医に対応を依頼しているか

R7 治療方針決定後、適切にかかりつけ医に依頼しているか

■ 十分できている ■ 普通 ■ 改善の余地がある



R5~R7 治療方針決定後、適切にかかりつけ医に依頼しているか

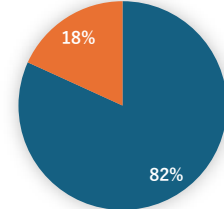


7

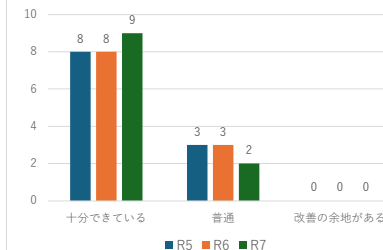
介護サービス等が必要な場合、適切な情報提供等を行っているか

R7 介護サービス等が必要な場合、適切な情報提供を行っているか

■ 十分できている ■ 普通 ■ 改善の余地がある

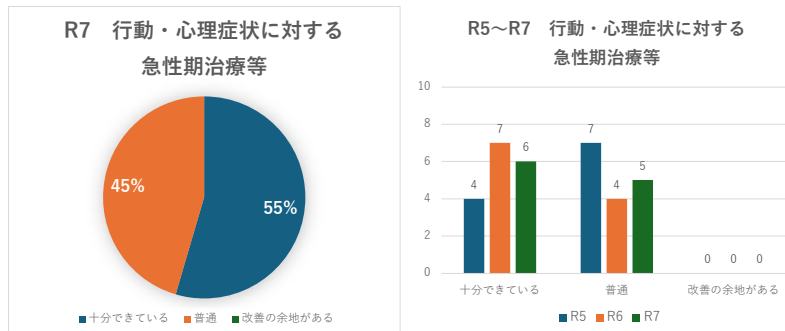


R5~R7 介護サービス等が必要な場合、適切な情報提供を行っているか



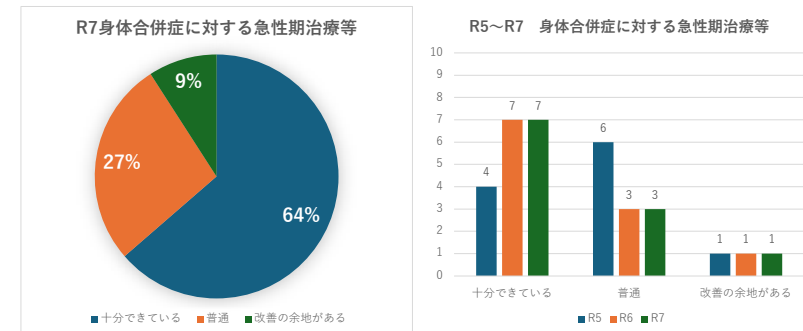
8

行動・心理症状に対する急性期治療を適切に行っているか、又は、他の対応可能な医療機関との連携が確保され、責任をもって対応できているか



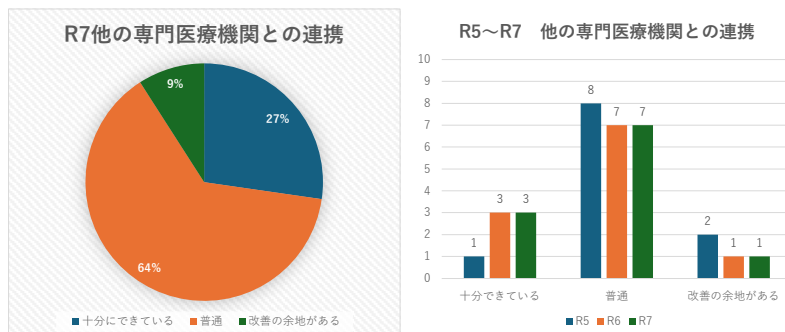
9

身体合併症に対する急性期治療を適切に行っているか、又は、他の対応可能な医療機関との連携が確保され、責任を持って対応できているか



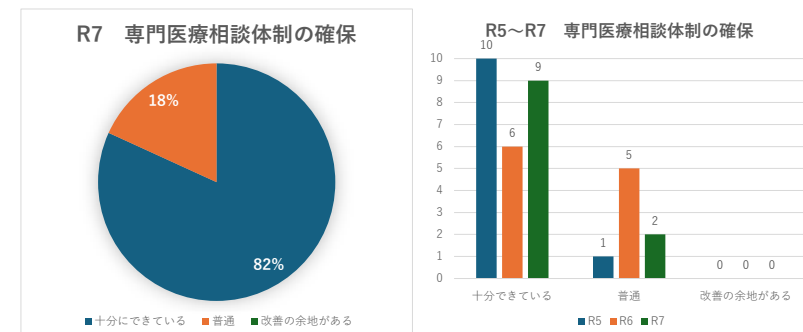
10

満床時など入院対応ができない場合等に備えて、日頃から他の専門医療機関との連携に努めているか



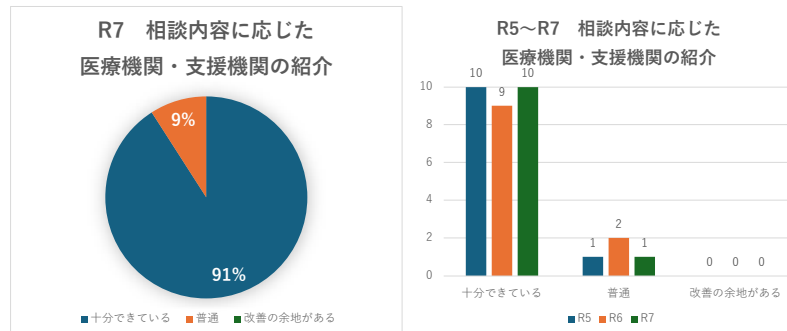
11

専門医療相談が実施できる体制が確保され、電話、面談等により相談が適切に実施されているか



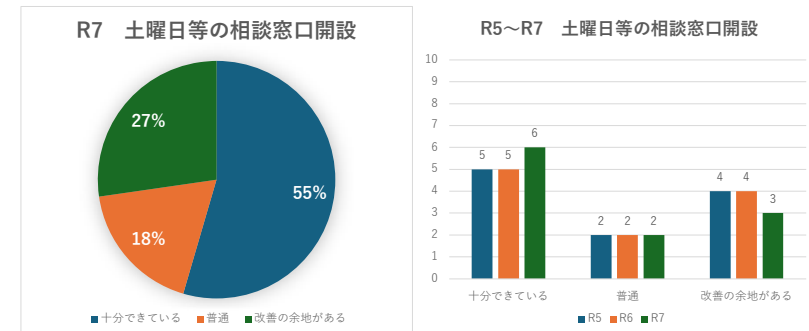
12

本人や家族からの相談に対し、医療の提供が必要な場合には医療機関を、介護サービスや福祉サービスの提供が必要な場合には市町村や地域包括支援センター等を紹介しているか



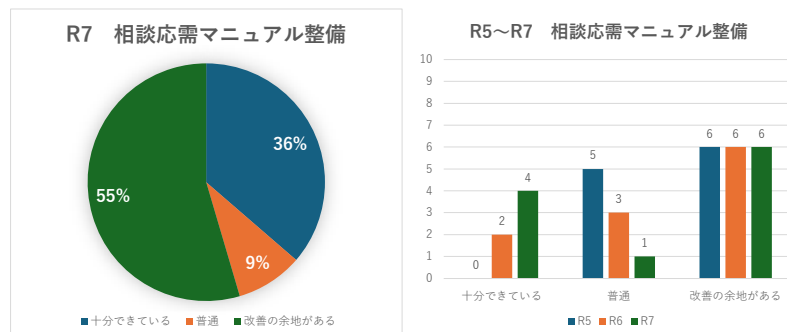
13

平日の昼間に相談できない方にも対応するため、必要に応じて土曜日等にも相談窓口を開設しているか



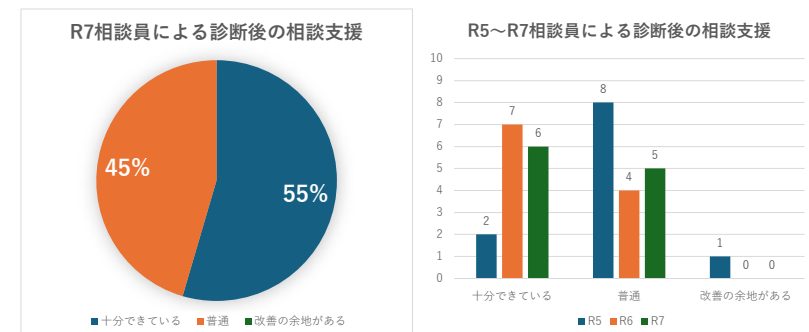
14

相談応需マニュアルを整備しているか



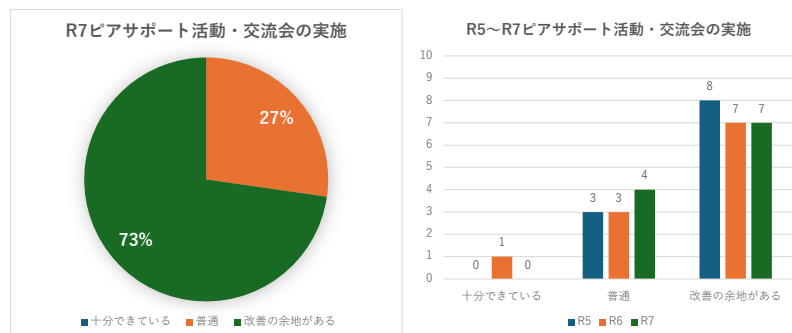
15

相談員による診断後の相談支援を行っているか



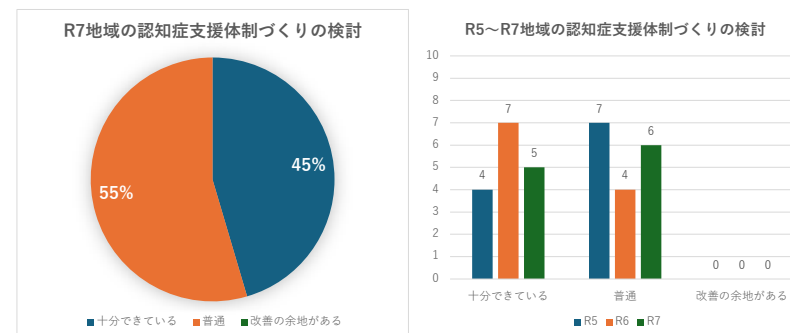
16

ピアカウンセリング等のピアサポート活動や交流会を実施しているか



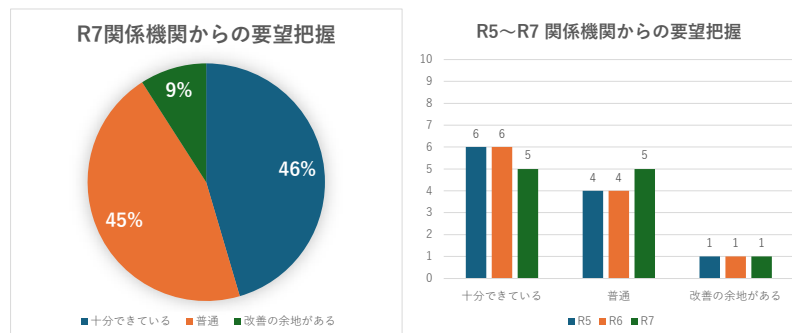
17

地域の認知症に関する支援体制づくりに関する検討等ができているか



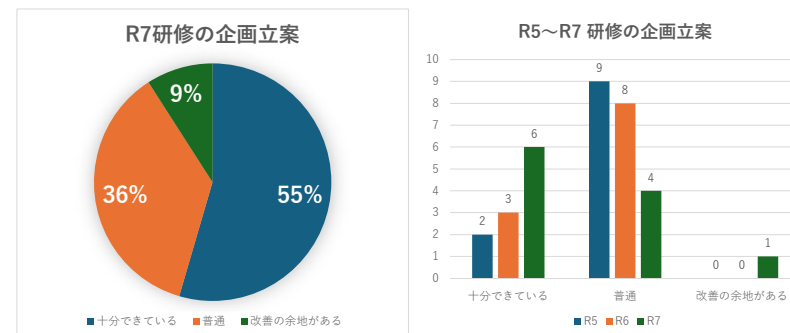
18

担当圏域内の初期集中支援チームや地位包括支援センター、ケアマネージャー等からの認知症疾患医療センターに対する要望を把握しているか



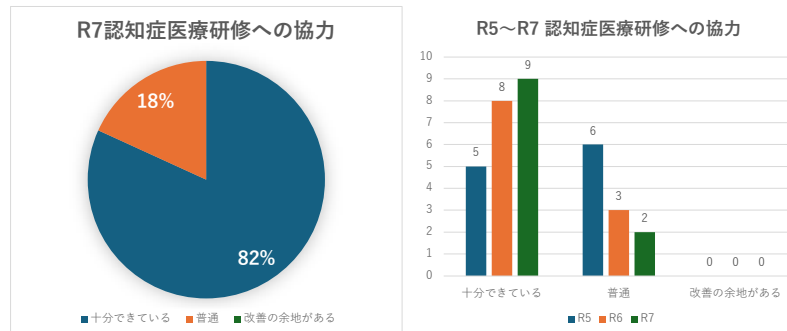
19

研修の企画立案については、前年度のアンケート結果や地域の状況に対して考慮したプログラムになっているか



20

関係機関の実施する認知症医療に関する研修へ協力しているか



21

評価が高かった項目（Aが9件以上）

受診者への診察結果の十分な説明（10件）

家族への診察結果の十分な説明（10件）

本人・家族の相談内容に応じた医療機関や包括等への紹介（10件）

介護サービス等の適切な情報提供（9件）

専門医相談体制の確保、電話面談相談の適切な実施（9件）

関係機関が実施する認知症研修への協力（9件）

22

評価が低かった項目（Cが多い項目）

【診断後の相談支援の実施】

ピアサポート活動・交流会実施（Cが7件）

→最も改善ニーズが高い

オレンジ大使を活用できる可能性

【専門医療相談の実施】

相談応需マニュアル整備（Cが6件）

→相談対応の標準化の課題

23

センター事業に携わる職員の研修実施状況①

全職員に認知症ケア、身体拘束最小化の動画コンテンツ視聴

コメディカルスタッフに、全国認知症疾患医療センターや県主催の研修、認知症学会、抗アミロイドβ抗体療法関連の製薬会社主催セミナー、市民公開講座等の外部研修会への参加

認知症疾患医療センター圏域内の病院、福祉サービス事業所、行政関係、当院職員を対象に、「精神科病棟における認知症患者の退院支援、認知症患者の入院について」「介護老人保健施設や通所施設における認知症ケアについての事例報告、高齢者の不眠について」2回ZOOMを使った講義形式の配信

病院全職員を対象に、「認知症について」「アドバンスケアプランニングと意思決定支援」「高次脳機能障害について」「神経症状の見方」「リハ栄養の重要性」について参集講義。アーカイブ保存。

外来スタッフを対象に、抗体薬治療（疾患理解、新薬のレジメ、Shared Decision Makingの実践について）製薬会社のセミナーを利用して学習

24

センター事業に携わる職員の研修実施状況②

医療法人の全職員を対象に、医療介護福祉関係者向けに行った研修会の視聴、YouTube等のアーカイブ視聴、認知症フォーラムや認知症疾患医療センター全国大会への参加

医師、看護師、精神保健福祉士等を対象に、せん妄と認知症の違い、BPSD治療、認知症の方へのアクティビティ、退院への道筋等、参集型およびWEB研修会への参加。センター職員自身が講師を務めてセンター職員等へ院内研修を実施。

市包括支援センター職員を対象に、講演会、コグニサイズ、グループワーク等研修会を実施。

医師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士を対象に、認知症患者の血糖管理についてハイブリット型研修を実施。看護師を対象に認知症ケアについて集合研修を実施。

25

センター事業に携わる職員の研修実施状況③

認知症疾患医療センタースタッフ及びもの忘れ外来担当医師及び看護師を対象に、事例検討、カンファレンスの定期開催。全国認知症疾患医療センター研修の参加、最新トピックスに応じたセミナーの周知・参加（WEB受講や対面受講）

全国認知症疾患医療センター連絡協議会へのオンデマンドウェブ参加（認知症疾患医療センターの新たな役割、抗Aβ抗体薬治療と診断後支援）

認知症ケア学会（医療介護福祉関係者）、老年看護学会（医療従事者）の参加

院内職員を対象に、院内認知症ケア研修（認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン等）の実施。

地域住民、介護福祉専門職、医療職、院内職員、かかりつけ医を対象に認知症疾患の病態、治療、予防、介護、支援方法、専門医とかかりつけ医の連携、地域連携についてハイブリッドで研修

26

研修対象者

院内職員向け

- ・ 院内職員向け
- ・ 全職員
- ・ 医師
- ・ 看護師
- ・ 社会福祉士
- ・ 精神保健福祉士
- ・ リハビリ職
- ・ 外来スタッフ
- ・ 認知症疾患医療センタースタッフ
- ・ もの忘れ外来担当職員

地域関係者向け

- ・ 地域包括支援センター職員
- ・ 医療・介護・福祉関係者
- ・ 福祉サービス事業所職員
- ・ 行政職員
- ・ かかりつけ医
- ・ 地域住民

27

実施方法

参集、オンライン、オンデマンド配信、ハイブリッド研修等

院内研修

- ・ 集合研修
- ・ カンファレンス
- ・ 事例検討会
- ・ センター職員による講義
- ・ 動画コンテンツ視聴
- ・ アーカイブ配信

外部研修への参加

- ・ 全国認知症疾患医療センター研修
- ・ 都道府県主催研修認知症関連学会
- ・ 認知症フォーラム
- ・ 製薬企業主催セミナー
- ・ 市民公開講座

28

研修内容

(1) 認知症ケア・BPSD対応

- ・ 認知症ケアの基礎
- ・ BPSD（行動・心理症状）の理解と対応
- ・ せん妄と認知症の鑑別
- ・ 認知症患者へのアクティビティ支援
- ・ 退院支援
- ・ 認知症ケア事例検討

(2) 意思決定支援・権利擁護

- ・ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）
- ・ 意思決定支援ガイドライン
- ・ 身体拘束最小化

(3) 最新医療・専門知識

- ・ 抗アミロイドβ抗体薬治療
- ・ 認知症患者の血糖管理
- ・ 高次脳機能障害
- ・ 神経症状の評価
- ・ リハビリテーション栄養
- ・ 高齢者の不眠

(4) 地域連携

29

センター事業に携わる職員の研修 ～全体の傾向～

全職員を対象とし、研修を開催した医療機関が複数あり、院内全体で認知症対応力向上に取り組んでいる。

認知症ケアやBPSD対応に加え、ACP、意思決定支援、退院支援など、実践的な内容が多く実施されている。

抗アミロイドβ抗体薬治療など最新の認知症医療に関する研修参加が進んでいる。

全国認知症疾患医療センター研修や学会等の外部研修への参加を通じ、専門性向上に取り組んでいる。

Zoomやオンデマンド配信等を活用し、地域の医療・介護・福祉関係者を対象とした広域的な人材育成にも取り組んでいる

30

その他、センターとして評価できる取組み （自由記載）

①認知症医療の高度化・診断後支援の充実

②地域へ啓発・普及活動の推進

③地域連携・人材育成の強化

④当事者・家族支援の充実

31

その他センターとして評価できる取組み ①認知症医療の高度化・診断後支援の充実

- ・ 抗アミロイドβ抗体治療に関する独自パンフレットを作成し、治療希望者へ情報提供
- ・ アミロイドβ抗体薬フォローアップ施設との定期的なWEBミーティングを実施
- ・ 診察に相談員が同席し、診断説明の理解確認や心理的支援、社会資源の案内を実施
- ・ 新規治療薬やバイオマーカーに関する大学との共同研究を推進

32

その他センターとして評価できる取組 ②地域へ啓発・普及活動の推進

- ・ 市主催認知症フェア、健康フェアへの出展
- ・ 認知症と難聴の関連に関する啓発活動
- ・ 専門職向け講演会等で年間約40回センター機能を紹介
- ・ センターホームページを活用した認知症クイズ等の情報発信
- ・ 「認知症こどもカプロジェクト」など次世代への普及啓発を実施

33

その他センターとして評価できる取組 ③地域連携・人材育成の強化

- ・ 認知症コーディネーター研修会の開催
- ・ 二次医療圏多職種勉強会（150名参加）の実施
- ・ 認知症連携協議会を通じた医療・介護・行政・当事者団体との連携強化
- ・ 地域関係機関との顔の見える関係づくりを継続

34

その他センターとして評価できる取組 ④当事者・家族支援の充実

- ・ 若年性認知症当事者のピア活動を支援
- ・ 若年性認知症の方の病院職員体験を実施し社会参加を促進
- ・ 「若年性認知症本人と家族会 in ちば」への継続的な参加・専門的支援
- ・ 病院主催による認知症家族交流会を新たに開始

35

令和7年度認知症疾患医療 センター事業評価集計結果 (市町村、地域包括支援センター、 認知症サポート医、)

令和8年7月24日
令和8年度第1回千葉県認知症疾患医療センター連絡会議

1

調査概要

県内54市町村、県内地域包括支援センター244か所、初期集中チームに参加している認知症サポート医105名に、ちば電子申請サービスを活用し、アンケートを実施。調査項目は対象により、一部異なる。

調査期間：令和8年3月4日～令和8年3月25日

アンケート回収数：市町村44市町村（81.5%）、地域包括支援センター123カ所（50.4%）、認知症サポート医31人（29.5%）

調査方法：県から市町村へ調査依頼。市町村から管内の地域包括支援センター、管内の認知症初期集中支援チームの全認知症サポート医に調査を依頼。ちば電子申請サービスに回答を入力。

2

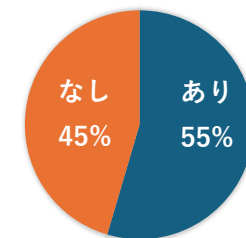
市町村

3

千葉県内の認知症疾患医療センターと 連携したことがありますか【市町村】

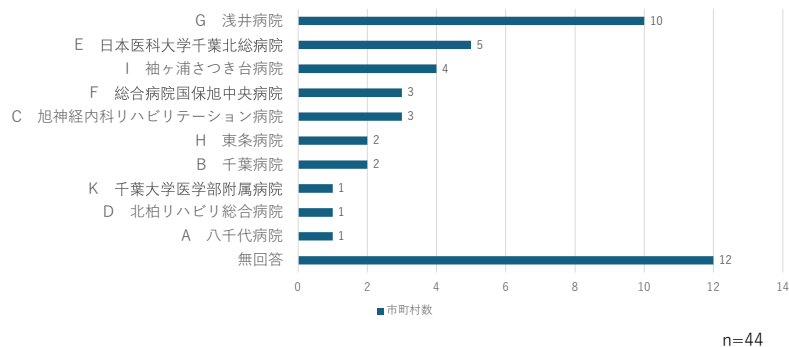
n=44	回答数	%
あり	24	54.5
なし	20	45.5
合計	44	100

市町村とセンターとの連携



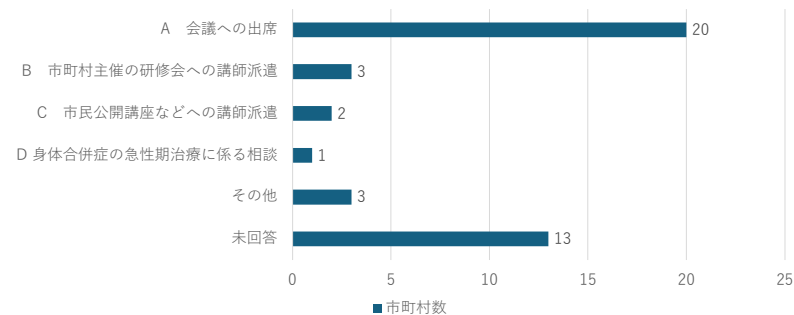
4

市町村と連携した実績が最も多いセンター



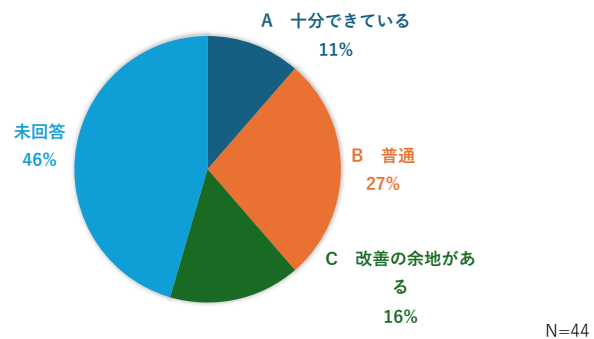
5

市町村とセンターで連携した内容 (複数回答可)



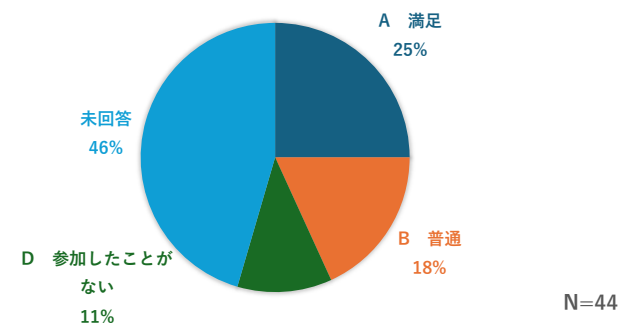
6

センターとの連携は円滑ですか？【市町村】



7

センター主催の研修の満足度【市町村】



8

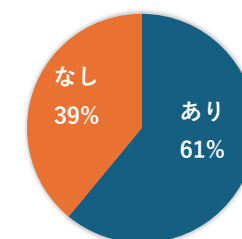
地域包括支援センター

9

千葉県内の認知症疾患医療センターと連携したことがありますか【地域包括支援センター】

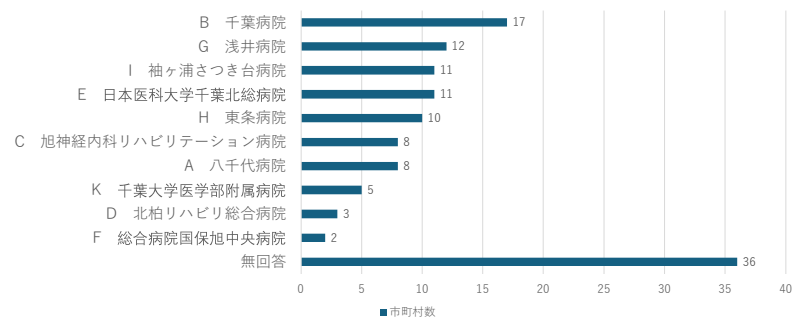
n=123	回答数	%
あり	75	61.0
なし	48	39.0
合計	123	100

地域包括とセンターとの連携



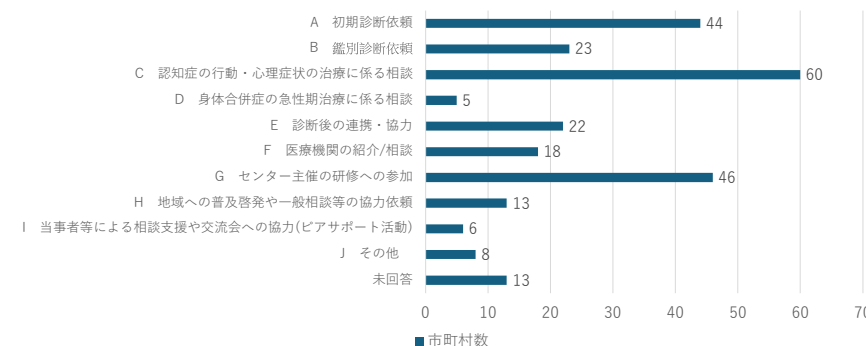
10

地域包括支援センターと連携した実績が最も多いセンター



11

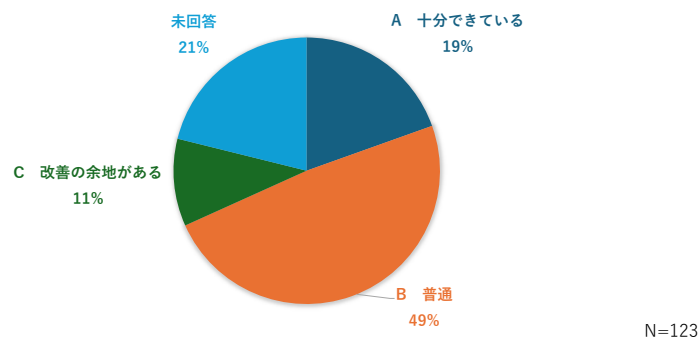
地域包括支援センターとセンターで連携した内容（複数回答可）



12

センターとの連携は円滑ですか？

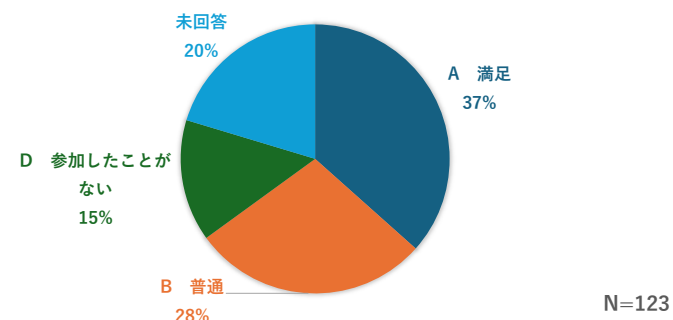
【地域包括支援センター】



13

センター主催の研修の満足度

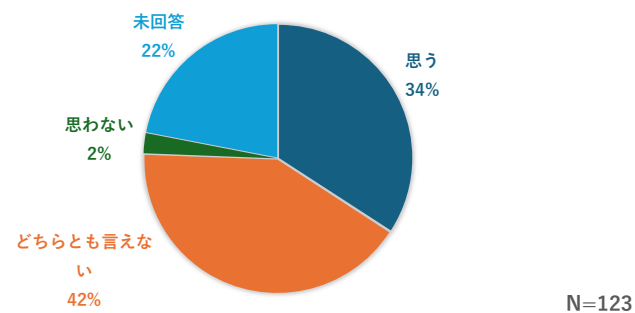
【地域包括支援センター】



14

センターの利用について、患者は満足していると思うか

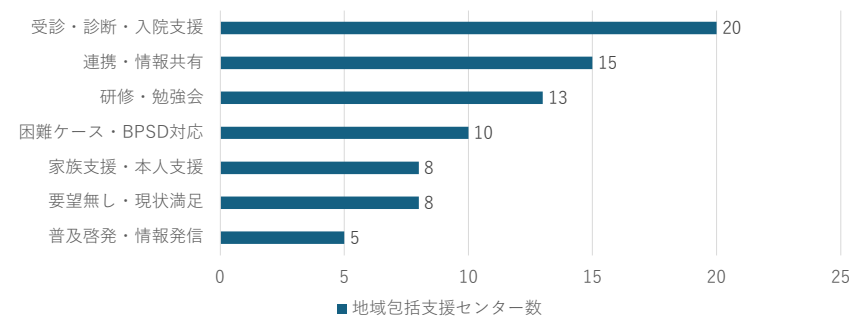
【地域包括支援センター】



15

今後センターとの連携で望むこと・自由記載

【地域包括支援センター】 回答内容を分類して集計



16

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ① 受診・診断・入院体制への期待（20件）

- 初診予約までの待機期間が長い
- 予約が取りにくい
- 入院調整が難しい
- 本人や家族の受診拒否への対応
- 医療機関へのアクセスの問題
- より早期の受診・診断体制への期待

⇒ センターには「専門診断機能」だけでなく、受診支援や入院調整機能への期待も大きい。

17

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ② 連携・情報共有の充実（15件）

- 診断後のフィードバックが欲しい
- 状況確認をしやすいしてほしい
- 関係機関との連携を強化したい
- 顔の見える関係づくりを進めたい
- 他センターとのネットワーク強化

⇒ センターには地域連携のハブ機能が期待されている。

18

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ③ 研修・人材育成への期待（13件）

- 研修会や講演会の開催
- 事例検討会の実施
- 初期集中支援チーム向け研修
- 多職種による学びの場
- 参加しやすい開催方法への要望

⇒ センターの教育機能へのニーズは依然として高い。

19

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ④ 困難事例・BPSD対応（10件）

- BPSDへの対応支援
- 急性増悪時の相談
- 施設で対応困難なケースへの助言
- 精神疾患との鑑別相談
- 緊急入院を含む迅速対応

⇒ 地域で対応困難な事例に対する専門機関としての役割が求められている。

20

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ⑤ 本人・家族支援（8件）

- 家族への助言
- サービス利用への橋渡し
- 受診拒否・サービス拒否への対応
- 進行期認知症に関する相談

⇒ 医療だけでなく、生活支援や家族支援への期待もみられる。

21

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 （まとめ）

地域包括支援センターからは、①受診・診断・入院体制の充実、②関係機関との連携強化、③研修・教育機能の充実に対する要望が多く寄せられた。

特に、受診待機期間の短縮、困難事例への支援、診断後の情報共有など、認知症疾患医療センターの専門性と地域連携機能のさらなる強化が期待されている。

22

認知症 サポート医

23

勤務する医療機関の所在地 【認知症サポート医】

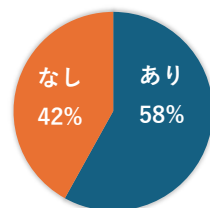
No.	市町村名	人数	No.	市町村名	人数
1	松戸市	4	13	市川市	1
2	浦安市	3	14	習志野市	1
3	南房総市	3	15	勝浦市	1
4	鎌ヶ谷市	2	16	千葉市	1
5	一宮町	1	17	大多喜町	1
6	印西市	1	18	長生村	1
7	我孫子市	1	19	長柄町	1
8	館山市	1	20	富里市	1
9	君津市	1	21	睦沢町	1
10	佐倉市	1	22	茂原市	1
11	山武市	1	23	未回答	1
12	四街道市	1		合計	31

24

千葉県内の認知症疾患医療センターと連携したことがありますか【認知症サポート医】

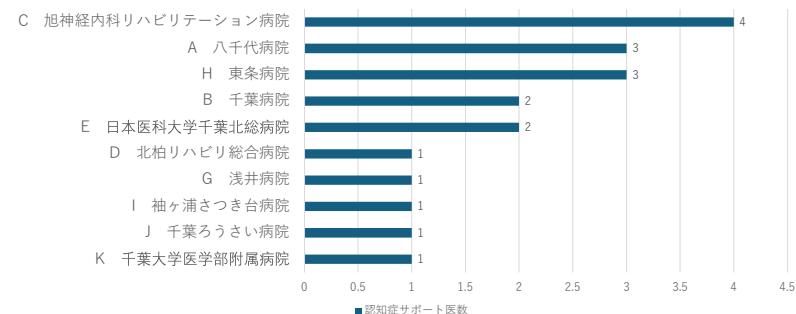
n=123	回答数	%
あり	18	58.1
なし	13	41.9
合計	31	100

認知症サポート医とセンターとの連携



25

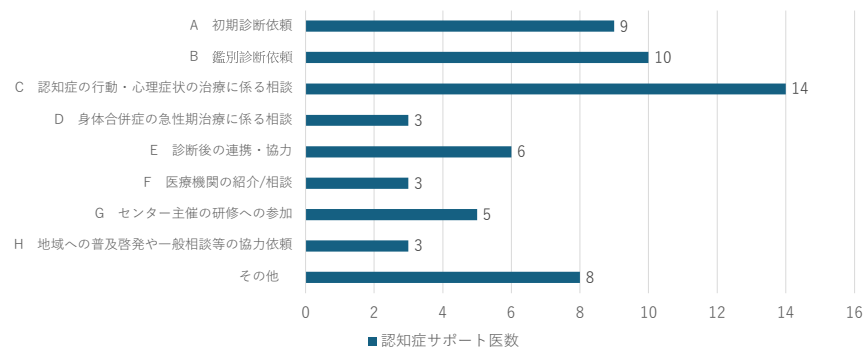
認知症サポート医と連携した実績が最も多いセンター



N=31

26

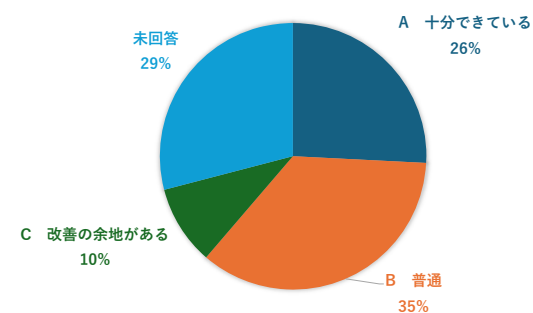
認知症サポート医とセンターで連携した内容 (複数回答可)



27

センターとの連携は円滑ですか？

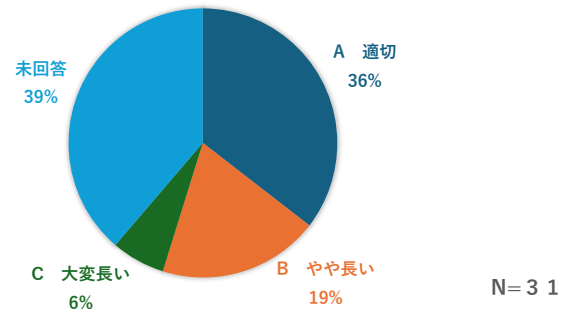
【認知症サポート医】



N=31

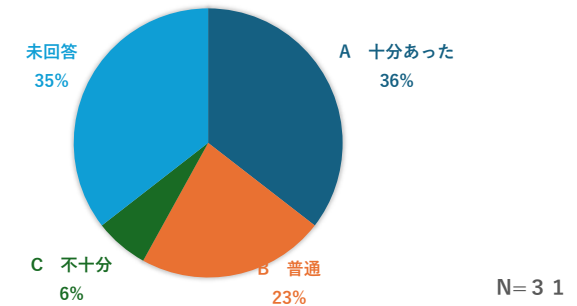
28

患者をセンターに紹介してから受診までの待機日数は適切だと思うか【認知症サポート医】



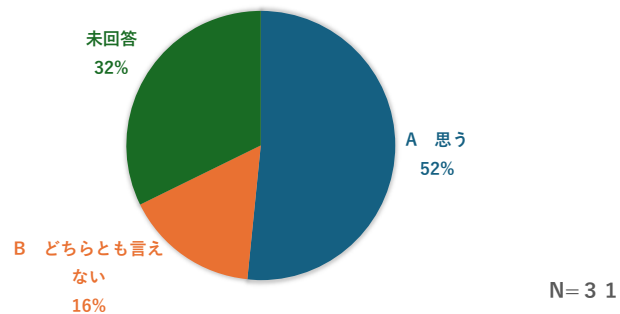
29

治療方針等について、十分な情報提供がありましたか【認知症サポート医】



30

センターの利用について、患者は満足していると思うか【認知症サポート医】



31

今後センターとの連携で望むこと・自由記載
① 受診・相談へのアクセス向上への期待

- ・相談・受診につながるまでのハードルが高い
- ・患者家族のみで相談・受診できる機会を増やしてほしい
- ・紹介患者をできるだけ早く診察してほしい
- ・受診までの待機期間のさらなる短縮を期待

キーワード

相談しやすさ、家族支援、受診待機期間の短縮

32

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ② 連携体制強化への要望

- センターとの距離が遠く連携しづらい
- 他院との連携機会を増やしたい
- 特定医療機関との連携強化や専用相談窓口の設置を希望
- 今後も顔の見える関係づくりを進めたい

キーワード

連携強化、相談窓口整備、地域ネットワーク構築

33

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 ③ センター機能への評価

- 地域の認知症課題に直接対応できる体制がある
- 現在の連携・受診体制に満足している
- 特に要望なしとの意見もみられた

キーワード

高い専門性、地域支援機能、利用者満足

34

今後センターとの連携で望むこと・自由記載 (まとめ)

「相談しやすさ・早期受診」「地域連携の強化」への
要望が多くみられた

一方で、現行の診療体制やセンター機能の評価する
意見もあり、地域の中核機関として一定の信頼を
得ていることがうかがえた

35